

平成31年3月20日
宿毛漁業指導所

関係者各位

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、環境調査と並行し、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。

検鏡の結果、赤潮発生の原因種であるアカシオ サンガイネアが最大0.03細胞/ml確認されました。当プランクトンは、基本的には無害なプランクトンですが、細胞数が急激に増加すると周囲を貧酸素状態にし、魚介類を弱らせてしまう可能性があります。

また、麻痺性貝毒の原因種であるアレキサンドリウム属が最大0.29細胞/ml、ギムノディニウムカテナータムが最大0.35細胞/ml確認されました。

今回の赤潮調査においては、全地点で数百～数千細胞/mlのケイ藻類が確認されました。そのため、現在湾内にて発生している海色の緑変は、ケイ藻類の増加によるものと考えられます。ケイ藻類の増殖による養殖魚への直接の被害発生の事例はありませんが、過去にケイ藻類が大量発生した際に、養殖魚の餌食いが悪化したとの報告があります。

今後、飼育魚や海色等に異常がみられる場合は、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡ください。

※(本日の調査は、海水100mlを1mlに濃縮し、プランクトンの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	アカシオ サンガイネア	アレキサンドリウム属	ギムノディニウム カテナータム
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/l)			
真珠 採水時間 9:18 透明度 8.0 m	0.0	15.8	32.9	7.6	0	0	0
藻津② (別図⑩) 採水時間 9:28 透明度 8.0 m	5.0	16.9	34.3	7.8	0	0	0
藻津① (別図⑨) 採水時間 9:34 透明度 8.5 m	10.0	17.5	34.5	7.4	0	0	0
大島中央① (別図⑤) 採水時間 9:47 透明度 10.0 m	8.0	17.4	34.5	7.6	0	0	0
小筑紫中央① (別図⑬) 採水時間 9:53 透明度 11.0 m	0.0	17.2	34.4	7.5	0	0	0